

天よりのマナ

出エジプト記一六章一〜21節

そこで主はモーセに言われた。「今、あなたがたのためにパンを天から降らせる。」(4)

荒野の旅を始めてしばらくして、食糧は底を尽き、民の中から早速不満が噴出しました。神に祈るよりも、まず不平不満を口にするのがイスラエルの民でした。民の窮状を見た神がモーセに告げられたのが今日の聖句です。マナと呼ばれるパンのような食物を朝ごとに天から地に降らせてくださるということです。食べ物など何もない荒野に、神は豊かな食物を天から降らせ、四十年にわたって民を養ってくださいました。「私が命のパンである」(ヨハネ六35)と主イエスが言われたように、私たちキリスト者は天よりのマナである主イエスにしっかりと結びつき、この方によって養われて生きる者たちです。キリストを離れては、人生の荒野を旅することなど出来ません。約束の御国を目ざして旅する神の民として、天よりのマナであるキリストによって養われ続ける者たちでありたいと願います。